

1 基本情報

施設名称	社会福祉センター
施設所管課・担当	福祉局総務部経理・企画課（管財担当）
条例上の設置目的	社会福祉事業の進展を図るとともに、広く市民の福祉の増進に寄与
業務の概要	社会福祉団体との連絡調整及び活動の助成、社会福祉事業に関する情報の収集及び提供
成果指標	貸会議室利用状況
数値目標	① 貸会議室利用状況 利用率80% ② 使用料収入 6,500,000円
指定管理者名	株式会社ビケンテクノ
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	貸会議室利用状況	会議室利用料収入
数値目標	利用率 80%	利用料収入 6,500,000円
年度実績	利用率63.4%	4,788,550円
達成率	79.3%	73.7%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	45,175人	44,803人	372人
稼働率	63.4%	63.7%	0.4%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	48,389,200	48,343,000	46,200	入館しているマンション管理費の増 （令和7年8月から増額）
	計画	48,343,000	48,343,000		
その他収入 （自主事業）	実績	473,555	410,489	114,955	自主事業（飲料水の自動販売機売上げ、カラーコピー機の設置等）による収入増。
	計画	358,600	290,400		
合計	実績	48,862,755	48,753,489	161,155	
	計画	48,701,600	48,633,400		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	21,793,903	16,555,595	-100,097	センター長年度途中に伴う人事異動による減額
	計画	21,894,000	22,068,000		
物件費	実績	26,875,433	31,832,551	426,433	・光熱水費高騰による増（861千円） ・会議室紹介サイト代を含む事務費の減（▲490千円） ・修繕費を含む管理費の増（55千円）
	計画	26,449,000	26,275,000		
その他支出 （自主事業支出）	実績	159,697	96,789	-198,903	自主事業の収入増
	計画	358,600	290,400		
合計	実績	48,829,033	48,484,935	127,433	
	計画	48,701,600	48,633,400		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸会議室利用状況 (利用率80%)	79.3%	C	・令和6年度と比較し、若干の減少にあるものの利用人数・利用料収入は増となっている。しかしながら令和5年度以前と比較をするとコロナ禍以降、リモート会議の普及増加により、これまで利用されていた方の利用が戻らなかったことが主な要因と考える。 ・改善策として、利用率増加を目指し ①令和7年5月からWebによる予約を開始。24時間365日いつでも・誰でも・どこからでも予約を受けられる体制を確立し予約の利便性向上を目指し、Webサイトから来館せずに利用予約ができるよう会議室利用予約サイトの開始を行った。 ②利用者からのWi-Fi導入要望により、各会議室および1FエントランスでのWi-Fi利用環境の整備を行った。（令和7年4月から無料Wi-Fiサービスを開始） ③近隣施設・区役所等へ案内チラシの配架の依頼や会議室のサイトへの掲載を検討し、利用者誘致を図る。 ④館内での様々催しを行い、近隣住民の方に参加していただくことにより知名度向上に努めた。
貸会議室利用料収入 (目標金額6,500,000円以上)	73.7%	C	・令和6年度と比較すると利用状況は若干の減少ながら、収入金額は83,100円増額となっている。理由としては、利用人数も372人増加したことにより、より広い会議室を利用したことによるものではと考える。 ・利用料の増加について、特に新規利用者獲得に向けた検討・実施を予定している。会議室のサイトへの掲載実施を開始、また、近隣施設・区役所等へ案内チラシの配架の依頼検討を行い、利用者誘致を図る。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・光熱水費のうち電気代については、記録的な猛暑などの対応から計画より支出が増加となった。さらなる増加とならないために館内電気で不要な箇所をこまめに切り削減を行った。 ・事務費は事務用品の一括購入等により削減ができた。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

利用者の立場に立ったサービスの提供と適切な施設管理に努めている。施設利用者へのアンケートの結果やご意見箱への意見を反映し、自動販売機の飲料水の種類の変更を実施した。また、予約が取りにくいという意見についてWeb予約システムを導入した。Wi-Fi環境への意見に対してはWi-Fi環境を整備し利便性が向上している。 結果、施設利用者へのアンケートによる、施設の利便性・満足度の調査では、満足の回答は96%、予約については75%の利用者から予約がしやすいとの回答があり、利用された方の施設の利便性・満足度は十分確保できていると考える。また、職員の対応満足度は96%と非常に高く、リピーター率も高いことから、利用者ニーズ・満足度も十分確保していると考える。
--

6 外部専門家意見

・老朽化が進む施設のため、コストカットも大事だが、そのことにより施設保全管理が低下しないように引き続き取組を行っていただきたい。
・7つある会議室のうち4つの会議室（第1・3・4・7会議室）の利用率が50％前後で稼働率が低いため利用率向上にむけた取組を行っていただきたい。
・利用者アンケートについて、昨年度より非常に良い回答であり評価できる。
・障がい者雇用にも積極的に取り組み、その人の状況に応じた業務内容を工夫しサポートしていることは評価できる。
・利用率や達成率は目標には達していないが、非常に様々な努力をされており、そのことが令和8年度の稼働率向上に繋がることを期待したい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	・成果指標は達成に至らなかったが、リモート会議の利用が多くなっている状況で概ね前年度と同水準を確保し、利用料収入は僅かながらも上昇している。 1次評価ではCとしたが、Web予約システムの導入、施設周辺へのチラシ配付などの様々な取り組みを含めB評価とした。
市費の縮減		B	サービスの水準を維持しながら、一定の管理経費の削減に取り組んでいる。
管理運営の履行状況		B+	・会議室使用利用Web予約システムの運用開始により予約方法の利便性が向上。 ・アンケートなどから利用者ニーズを的確にとらえ、サービス向上を図っている。利便性・満足度や職員の対応満足度でも昨年度より高い満足度を得ている。 ・障がい者の方の雇用を積極的に進めており、市の施策との整合性に沿った取り組みを行っている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営			
事業計画の実施状況			
施設の有効利用			
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		B	概ね事業計画又は本市の定める水準どおりに管理運営が行われていると総合的に評価できる。